

# コダック ラピッド フィクサー

液量は、U.S.法およびメートル法の両方で併記しています。

注：容器および説明書にある注意書きを良くお読みください。

項目	ページ
<b>フィルムおよびプレート※</b>	
溶解方法 .....	2
製版用途 .....	2
X線用途 .....	3
プロフェッショナル用途 .....	3
フォトフィニッシング用途 .....	4
<b>ペーパー</b>	
溶解方法 .....	5
定着 .....	5
<small>※コダック ラピッド フィクサー パーサマット フィルム プロセッサーのような自動現像機で使用する場合は、フィルムあるいはプレートに指示された希釈を行ってください。</small>	

## ●保存

ソリューションAおよびBの原液の保存期間を最大にするには、4～27°C (40～80°F)で保存してください。

未使用の溶解溶液の室温での保存期間：

トレイで一週間

浮き蓋付きの処理タンクで四週間

浮き蓋付きの貯蔵タンクで四週間

手現像で定着液の寿命を最も長くするには、調合済みパッケージで販売されているコダック インディケーター ストップ バスあるいはフィルムまたはペーパーの説明書に推奨されている停止液を使用します。

溶解した補充液の保存期間：浮き蓋付きのタンクで最大二ヶ月です。

## パートA

内容物：水(7732-18-5)、チオ硫酸アンモニウム(7783-18-8)、酢酸ナトリウム(127-09-3)、ほう酸(10043-35-3)、酢酸(64-19-7)。

推奨通りの取り扱いに従えば、危険性は少ない。子供の手の届かないところに保管してください。より詳しい情報については、製品安全データシート(MSDS)を参照ください。

**コダック株式会社**

製品の使い方等に関するお問い合わせ Tel. 03-5644-5040  
MSDSに関するお問い合わせ Tel. 03-5644-5025

## パートB

内容物：硫酸(7664-93-9)。

### 危険! 毒薬

飲み込むと有害です。皮膚や目に刺激があります。目、皮膚、衣服に付かないようにしてください。取り扱い後、良く手を洗ってください。応急処置：もし飲み込んだ場合は、吐かせずに、すぐコップ一杯の水を飲ませてください。意識を失った人に口移しでものを与えることはしないでください。目に入った場合、すぐに大量の水で少なくとも15分間、洗ってください。皮膚に付着した場合、すぐに石鹼と水で洗ってください。具合が悪いようなら、すぐに医者に連絡してください。汚染された衣服や靴は脱いでください。汚染された衣服は再着用の際に必ず洗濯してください。汚染された靴は処分するか、完全に洗ってから使用してください。子供の手の届かないところに保管してください。

より詳しい情報については、製品安全データシート(MSDS)を参照ください。

その他の内容物：水(7732-18-5)、硫酸アルミニウム(10043-01-3)。

### コダック株式会社

製品の使い方等に関するお問い合わせ Tel. 03-5644-5040  
MSDSに関するお問い合わせ Tel. 03-5644-5025

**重要：**ソリューションAの原液にソリューションBを加えないでください。ソリューションBを希釈したソリューションAに加えるときは、沈澱が起きないように激しく攪拌します。

## フィルムおよびプレート

### ● フィルムおよびプレート用定着液の溶解方法

下記容量の定着液を調製する場合	1. 15~27°C (60~80°F)の水を下記の容量用意する	2. 下記容量のソリューションAを加える	3. 良く攪拌しながら下記容量のソリューションBを加える	4. 水を加え、総量が下記の量になるようにする完全に混合するまで攪拌する
3.8L (1gal)	1.9L (½gal)	946mL (32fl oz)	104mL (3½fl oz)	3.8L (1gal)
13.2L (3½gal)	6.6L (1¾gal)	3.3L (112fl oz)	370mL (12½fl oz)	13.2L (3½gal)
19L (5gal)	9.5L (2½gal)	4.7L (1¼gal)	532mL (18fl oz)	19L (5gal)
38L (10gal)	19L (5gal)	9.5L (2½gal)	1.1L (36fl oz)	38L (10gal)
76L (20gal)	38L (10gal)	19L (5gal)	2.1L (72fl oz)	76L (20gal)

コダック バーサマット フィルム プロセッサーやその他ローラートランスポート プロセッサーのような自動現像機では、溶解した溶液を補充液にも使用液にも使います。

## ● 製版用途

### 手現像処理

前記の溶解方法に従ってください。

特定の製品に対する定着時間は、各製品パッケージに同封されています。

3.8L(1gal)当たりの処理能力：

20×24インチの“リス タイプ”フィルムまたはプレート 80枚

または20×24インチの連続階調フィルムまたはプレート 20枚

または他のサイズでは同等の面積。

## ● X線用途

### 手現像処理

定着時間—15.5～29.5°C (60～85°F)の新しい定着液で、頻繁に攪拌しながら定着します。

コダック パノラミック デンタル フィルム ..... 2～4分

コダック インダストレックス フィルム ..... 3～6分

コダック ダイレクト エクスポージャー フィルム ..... 8～10分

注：フィルムを20分以上定着しないでください。

処理能力：補充(下記参照)をしない場合は、クリア タイムが推奨定着時間の1/2以上になったら破棄します。

### 補充

1. 19L(5gal)の定着液に対して、14×17インチのフィルム50枚相当定着したら、使用した定着液 19L(5gal)に対し946ml(1qt)を抜き取ります。

2. 19L(5gal)の定着液に対して、溶解したソリューションAを946ml(1qt)加えます。

3. 19L(5gal)の定着液に対して、攪拌しながら溶解したソリューションBを106mL(3.6fl oz)加えます。

4. 溶液が完全に混合するまで攪拌します。

上記のように補充します。コダック ダイレクト エクスポージャー フィルムの場合は、2回まで、その他のフィルムでは、4回まで補充できます。そこまで使ったら、定着液は破棄し、新しい定着液に取り替えます。

注：溶解した補充液の補充の仕方については、4ページの表を参照してください。

## ● プロフェッショナル用途

### 自動現像機処理

コダック バーサマット フィルム プロセッサーでの推奨処理条件については、各フィルムのデータシートを参照してください。フィルム銘柄を特定し、コダック株式会社営業担当者あるいは、コダック株式会社 プロフェッショナル事業部 〒103-8540 東京都中央区日本橋小網町6-1 山万ビル宛ご請求ください。

## 手現像処理

定着時間—18~24°C (65~75°F)の新しい定着液で、頻繁に攪拌しながら定着します。

殆どのコダック プロフェッショナル フィルム ..... 2~4分

コダックT-MAX プロフェッショナル フィルム ..... 3~5分

特定のフィルムおよびコダック プレートに対する定着時間は、フィルムおよびプレートのパッケージに同封されています。

3.8L (1gal) 当たりの処理能力：

135サイズ36枚撮り 120本

または8×10インチシート 120枚

または他のサイズでは同等の面積。

※他のメーカーのローラートランスポート プロセッサにコダック ラヒッド フィクサーを使用することは、お薦めいたしません。

## ● プロフェッショナルおよびフォトフィニッシング用途

### 自動現像機処理

タンクの容量	1. 16~27°C (60~80°F)の水を下記の容量入れる	2. 下記容量のソリューションAを加える	3. 下記容量のソリューションB*を加える	4. 水を加え、総量が下記の量になるようにする
117L (31gal)	83L (22gal)	19.1L (5gal 5fl oz)	2.19L (74fl oz)	117L (31gal)
167L (44gal)	83L (22gal)	26.8L (7gal 11fl oz)	3.13L (106fl oz)	167L (44gal)
182L (48gal)	91L (24gal)	30.3L (8gal)	3.4L (115fl oz)	182L (48gal)
314L (83gal)	151L (40gal)	53L (14gal)	5.89L (1gal 71fl oz)	314L (83gal)

\*ソリューションBを加えるときは、激しく攪拌します。溶液が完全に混合するまで攪拌を続けます。

### 原液のソリューションAおよびBで行なう補充

1. 原液のソリューションAの補充は以下のように行います：

117~170L (31~45gal)タンク	5本掛けハンガー	19mL/ハンガー
	6本掛けハンガー	23mL/ハンガー
	7本掛けハンガー	27mL/ハンガー
	10本掛けハンガー	38mL/ハンガー
182~314L (48~83gal)タンク	5本掛けハンガー	12mL/ハンガー
	6本掛けハンガー	15mL/ハンガー

2. 5,000本処理する毎に、激しく攪拌しながら原液のソリューションBを1.42L (48fl oz) 定着タンクに加えます。

## 溶解した補充液による補充

補充液の溶解方法：

必要調整 容量	1. 16~27°C (60~80°F)の 水を下記の容量 入れる	2. 下記容量の ソリューションAを 加える	3. 下記容量の ソリューションB*を 加える
3.8L (1gal)	2.84L (96fl oz)	946mL (32fl oz)	104mL (3½fl oz)
38L (10gal)	28.2L (7½gal)	9.5L (2½gal)	1.06L (36fl oz)
76L (20gal)	57L (15gal)	19L (5gal)	2.13L (72fl oz)

\*ソリューションBを加えるときは、激しく攪拌します。溶液が完全に混合するまで攪拌を続けます。

補充率：タンク サイズに関わらず10mL／本の補充液を加えます。例えば、5本掛けのハンガーの場合は、50mL、6本掛けのハンガーの場合には、60mL加えます。

## ペーパー

### ● ペーパー用定着液の溶解方法

手現像処理\*

下記容量の 定着液を 調製する場合	1. 16~27°C (60~80°F)の 水を下記の容量 用意する	2. 下記容量の ソリューションAを 加える	3. 良く攪拌しながら 下記容量の ソリューションBを 加える	4. 水を加え、総量が 下記の量になるようにする 完全に混合するまで 攪拌する
3.8L (1gal)	1.9L (½gal)	473mL (16fl oz)	52mL (1¾fl oz)	3.8L (1gal)
19L (5gal)	9.5L (2½gal)	2.37L (80fl oz)	259mL (8¾fl oz)	19L (5gal)

\*製版用ペーパー自動現像液処理する場合は、2ページにあるフィルムおよびプレート用定着液の溶解方法に従って、コダックラピッド フィクサーを溶解してください。

### ● ペーパーの定着方法

定着時間—18~24°C (65~75°F) の新しい定着液で、頻繁に攪拌しながら定着します。

ペーパーの種類	二浴定着法 (各槽での時間)	一浴定着法
殆どの非樹脂加工 ペーパー	3~5分	6~10分
耐水性 樹脂加工ペーパー	1分	2分

注：上記の時間より長く定着をしないでください。推奨定着時間で、ペーパーのベースへのハイポの染み込みを少なくした上で、完全な定着が可能です。

二浴定着法：第一定着浴1gal当たりの処理能力は、殆どの非樹脂加工ペーパーに対しては、8×10インチプリント(または同等の面積)200枚、また、樹脂加工ペーパーに対しては、8×10インチプリント(または同等の面積)350枚です。この数量のプリントを二浴処理を行なったら、第一浴を廃棄します。第二浴を第一浴に廻し、新しい第二浴を調製します。新しいこの二浴定着液で、更に非樹脂加工ペーパー200枚、あるいは樹脂加工ペーパー350枚を処理することができます。この入れ替えが三回(あるいは、一週間のどちらか早い方)経ったら、両方を廃棄し、新しく二つの定着液を用意します。

一浴定着法：一浴定着の処理能力は、非樹脂加工でも樹脂加工ペーパーでも1gal当りの処理能力は、8×10インチプリント(または同等の面積)100枚です。

### 自動現像機処理

下記容量の定着液を調製する場合	1. 16~27°C (60~80°F)の水を下記の容量用意する	2. 下記容量のソリューションAを加える	3. 良く攪拌しながら下記容量のソリューションBを加える	4. 水を加え、総量が下記の量になるようにする完全に混合するまで攪拌する
76L (20gal)	38L (10gal)	19L (5gal)	2.1L (72fl oz)	76L (20gal)

自動現像機では、溶解した溶液を補充液にも使用液にも使います。

### コダック デクトマチック65ペーパー プロセッサー

この定着液をコダック デクトマチック65ペーパープロセッサーで使用する場合は、ソリューションA 1部を3部の水で希釈します。樹脂加工ペーパーは、30°C (86°F)で25秒定着します。

注：このプロセッサーの場合は、ソリューションBを使ってはいけません。

補充率：このプロセッサーでは、溶解溶液を補充液および使用液として兼用します。補充率は、0.15mL/in<sup>2</sup>・135mL/分にします。

溶液の寿命：プロセッサーを週に20時間以上使用している場合は、処理コントロールがイン コントロールである限り、プロセッサーの保守をするまで使い続けられます。低利用度の場合は、80時間処理することに定着液を廃棄します。

注：万一、製造、表示、あるいは梱包上の欠陥があった場合には、同数の新しい製品と交換させていただきます。そのような交換を除き、不注意あるいはその他取り扱い上の誤りが原因の欠陥、損傷、あるいは損失に対しては、補償、責任を負いかねますのでご承知おきください。



コダック株式会社

**KP 65351v**

## **KODAK RAPID FIXER**

Liquid volumes are given in the U.S. and metric systems.

**NOTICE:** Observe the precautionary information on the containers and in the instructions.

<b>CONTENTS</b>	<b>Page</b>
<b>FILMS AND PLATES*</b>	
Mixing .....	2
Graphic Arts Applications .....	2
X-ray Applications .....	3
Professional Applications .....	3
Photofinishing Applications .....	4
<b>PAPERS</b>	
Mixing .....	5
Fixing .....	5

\*When you use KODAK Rapid Fixer in mechanized processors such as KODAK VERSAMAT Film Processors, use the dilution specified for films and plates.

### ● **STORAGE**

For maximum storage life of undiluted Solutions A and B, store them at temperatures between 40 and 80°F • 4 and 27°C.

Storage life of unused mixed solution at room temperature:

- 1 week in a tray
- 4 weeks in a processing tank with a floating cover
- 4 weeks in a storage tank with a floating cover

For maximum fixing-bath life in manual processing, use an acid stop bath such as KODAK Indicator Stop Bath (available in package form) or other stop baths recommended in the instructions packaged with films and papers.

**Storage Life of Mixed Replenisher Solution:** Up to 2 months in a tank with a floating cover.

### **PART A**

**CONTAINS:** Water (7732-18-5), Ammonium thiosulfate (7783-18-8), Sodium acetate (127-09-3), Boric acid (10043-35-3), Acetic acid (64-19-7).

**LOW HAZARD FOR RECOMMENDED HANDLING.** Keep out of reach of children.

For additional information, see Material Safety Data Sheet (MSDS) for this material.

Product Information: (716) 724-9977

## PART B

**CONTAINS:** Sulfuric acid (7664-93-9).

**DANGER! ☠ POISON ☠**

HARMFUL IF SWALLOWED. CAUSES SKIN AND EYE IRRITATION. Avoid contact with eyes, skin, and clothing. Wash thoroughly after handling. **First Aid:** If swallowed, do NOT induce vomiting. Immediately give victim a glass of water. Never give anything by mouth to an unconscious person. In case of eye contact, immediately flush eyes with plenty of water for at least 15 minutes. In case of skin contact, immediately wash with soap and plenty of water. Call a physician or poison control center immediately. Remove contaminated clothing and shoes. Wash contaminated clothing before reuse. Destroy or thoroughly clean contaminated shoes. Keep out of reach of children.

For additional information, see Material Safety Data Sheet (MSDS) for this material.

Additional Components Include: Water (7732-18-5), Aluminum sulfate (10043-01-3).

Product Information: (716) 724-9977

**IMPORTANT:** Never add Solution B to **undiluted** Solution A. When you add Solution B to diluted Solution A, use vigorous agitation to prevent precipitation.

## Films and Plates

### ● TO PREPARE A FIXING BATH FOR FILMS AND PLATES

To make this volume of fixing bath	1. Start with this volume of water at 60 to 80°F • 16 to 27°C	2. Add this volume of Solution A	3. With rapid agitation, add this volume of Solution B	4. Add water to bring solution to this volume. Stir until completely mixed
1 gal • 3.8 L	½ gal • 1.9 L	32 fl oz • 946 mL	3½ fl oz • 104 mL	1 gal • 3.8 L
3½ gal • 13.2 L	1¾ gal • 6.6 L	112 fl oz • 3.3 L	12½ fl oz • 370 mL	3½ gal • 13.2 L
5 gal • 19 L	2½ gal • 9.5 L	1¼ gal • 4.7 L	18 fl oz • 532 mL	5 gal • 19 L
10 gal • 38 L	5 gal • 19 L	2½ gal • 9.5 L	36 fl oz • 1.06 L	10 gal • 38 L
20 gal • 76 L	10 gal • 38 L	5 gal • 19 L	72 fl oz • 2.13 L	20 gal • 76 L

In Mechanized Processors, such as KODAK VERSAMAT Film Processors and other roller-transport processors, the mixed solution is used as both a replenisher and a working solution.

### ● GRAPHIC ARTS APPLICATIONS

#### Mechanized Processing

Recommendations are given in KODAK Machine Processing Data Releases, available from Kodak Representatives or from Eastman Kodak Company, Department 662C, Rochester, NY 14650. Specify the film and chemicals you are using.



## Manual Processing

Follow the mixing directions given above.

FIXING TIMES for specific products are provided in the instructions packaged with the products.

CAPACITY per gallon • 3.8 litres of fixing bath:

80 20 x 24-inch "lith-type" films or plates  
or 20 20 x 24-inch continuous-tone films or plates  
or an equivalent area in other sizes.

## ● X-RAY APPLICATIONS

### Manual Processing

FIXING TIMES, with frequent agitation, in a fresh fixing bath at 60 to 85°F • 15.5 to 29.5°C.

KODAK Panoramic Dental Films .....	2 to 4 minutes
KODAK INDUSTREX Films .....	3 to 6 minutes
KODAK Direct Exposure Film .....	8 to 10 minutes

Note: Do not fix films for longer than 20 minutes.

CAPACITY: Unless the solution is replenished (see below), discard when the time required to clear films is more than one-half the total recommended fixing time.

### Replenishment

1. After fixing the equivalent of 50 14 x 17-inch films per 5 gallons • 19 litres of fixing bath, remove 1 quart • 946 mL per 5 gallons • 19 litres of the used fixing bath.
2. Add 1 quart • 946 mL of *mixed* Solution A per 5 gallons • 19 litres of fixing bath.
3. With continuous agitation, slowly add 3.6 fl oz • 106 mL of *mixed* Solution B per 5 gallons • 19 litres of fixing bath.
4. Stir until the solution is completely mixed.

The fixing bath can be replenished as described, 2 times for KODAK Direct Exposure Film and 4 times for all others. The bath should then be discarded and replaced with a fresh solution.

Note: To replenish with mixed replenisher solution, refer to table on page 4.

## ● PROFESSIONAL APPLICATIONS

### Mechanized Processing

Recommendations for processing in KODAK VERSAMAT Film Processors are given in Process Datafiles or Machine Processing Data Releases, available from Kodak Representatives or from Eastman Kodak Company, Department 412-L, Rochester, NY 14650. Specify the film, processor model, and chemicals you are using.\*

## Manual Processing

**FIXING TIMES**, with frequent agitation, in a fresh fixing bath at 65 to 75°F • 18 to 24°C:

Most Kodak professional films.....	2 to 4 minutes
KODAK T-MAX Professional Films .....	3 to 5 minutes
KODAK PANATOMIC-X Roll Films .....	1 to 2 minutes

Fixing times for specific films and for Kodak plates are given in the instructions packaged with the films and plates.

**CAPACITY** per gallon • 3.8 litres of fixing bath:

- 120 135-size, 36-exposure rolls
- or 120 8 x 10-inch sheets
- or an equivalent area in other sizes.

\*We do not recommend using KODAK Rapid Fixer with professional films in other manufacturers' roller-transport processors.

## ● PROFESSIONAL AND PHOTOFINISHING APPLICATIONS

### Mechanized Processing

Tank Size	1. Start with this volume of water at 60 to 80°F • 16 to 27°C	2. Add this volume of Solution A	3. Add this volume of Solution B*	4. Add water to bring total volume to
31 gal • 117 L	22 gal • 83 L	5 gal 5 fl oz • 19.1 L	74 fl oz • 2.19 L	31 gal • 117 L
44 gal • 167 L	22 gal • 83 L	7 gal 11 fl oz • 26.8 L	106 fl oz • 3.13 L	44 gal • 167 L
48 gal • 182 L	24 gal • 91 L	8 gal • 30.3 L	115 fl oz • 3.4 L	48 gal • 182 L
83 gal • 314 L	40 gal • 151 L	14 gal • 53 L	1 gal 71 fl oz • 5.89 L	83 gal • 314 L

\*Use rapid agitation when adding Solution B. Continue stirring until the solution is completely mixed.

### TO REPLENISH WITH UNDILUTED SOLUTIONS A AND B

1. Replenish with undiluted Solution A as follows:

31- to 45-gallon tanks • 117 to 170 litres	5-clip hanger	19 mL per hanger
	6-clip hanger	23 mL per hanger
	7-clip hanger	27 mL per hanger
	10-clip hanger	38 mL per hanger
48- to 83-gallon tanks • 182 to 314 litres	5-clip hanger	12 mL per hanger
	6-clip hanger	15 mL per hanger

2. After every 5000 rolls processed, add 48 fl oz • 1.42 L of undiluted Solution B to the fixer tank with rapid agitation.

## TO REPLENISH WITH MIXED REPLENISHER SOLUTION

To Prepare Replenisher Solution:

Approximate Volume Required	1. Start with this volume of water at 60 to 80°F • 16 to 27°C	2. Add this volume of Solution A	3. Add this volume of Solution B*
1 gal • 3.8 L	96 fl oz • 2.84 L	32 fl oz • 946 mL	3½ fl oz • 104 mL
10 gal • 38 L	7½ gal • 28.2 L	2½ gal • 9.5 L	36 fl oz • 1.06 L
20 gal • 76 L	15 gal • 57 L	5 gal • 19 L	72 fl oz • 2.13 L

\*Use rapid agitation when adding Solution B. Continue stirring until the solution is completely mixed.

**Replenishment Rate:** For all tank sizes, add the replenisher at the rate of 10 mL per roll. For example: use 50 mL for a 5-clip hanger and 60 mL for a 6-clip hanger.

## Papers

### ● TO PREPARE AND USE A FIXING BATH FOR PAPERS

#### Manual Processing\*

To make this volume of fixing bath	1. Start with this volume of water at 60 to 80°F • 16 to 27°C	2. Add this volume of Solution A	3. With rapid agitation, add this volume of Solution B	4. Add water to bring solution to this volume. Stir until completely mixed
1 gal • 3.8 L	½ gal • 1.9 L	16 fl oz • 473 mL	1¼ fl oz • 52 mL	1 gal • 3.8 L
5 gal • 19 L	2½ gal • 9.5 L	80 fl oz • 2.37 L	8¾ fl oz • 259 mL	5 gal • 19 L

\*For *mechanized* processing of graphic arts papers, mix KODAK Rapid Fixer by following the directions for films and plates (page 2).

### ● INSTRUCTIONS FOR FIXING PAPERS

**FIXING TIMES** (in minutes), with frequent agitation, in a fresh fixing bath at 65 to 75°F • 18 to 24°C:

Paper	Two-fixing-bath method (time in each bath)	One-fixing-bath method
Most non-resin-coated papers	3 to 5 minutes	6 to 10 minutes
Resin-coated, water-resistant papers	1 minute	2 minutes

Note: Do not fix prints longer than the times indicated above. The recommended fixing times provide complete fixing while minimizing absorption of hypo by the base of the paper.

**Two-Fixing-Bath Method:** The capacity per gallon of the first fixing bath is 200 8 x 10-inch prints (or equivalent) for most non-resin-coated papers or 350 8 x 10-inch prints (or equivalent) for resin-coated papers. After this number of prints has passed through both baths, discard the first bath. Use the second bath to replace the first, and make a new second bath. The new two-bath setup is then ready to fix 200 more non-resin-coated prints or 350 resin-coated prints per gallon. After three more changes (or one week if sooner), discard both baths and prepare fresh baths.

**One-Fixing-Bath Method:** The capacity of a single fixing bath is 100 8 x 10-inch prints (or equivalent) per gallon for either non-resin-coated or resin-coated prints.

### Mechanized Processing

To make this volume of fixing bath	1. Start with this volume of water at 60 to 80°F • 16 to 27°C	2. Add this volume of Solution A	3. With rapid agitation, add this volume of Solution B	4. Add water to bring to this volume. Stir until completely mixed
20 gal • 76 L	10 gal • 38 L	5 gal • 19 L	72 fl oz • 2.1 L	20 gal • 76 L

In mechanized processors, the mixed solution is used as both a replenisher and a working solution.

### KODAK DEKTOMATIC 65 Paper Processor

To use this fixer in the KODAK DEKTOMATIC 65 Paper Processor, dilute one part Solution A to three parts water. Fix resin-coated papers at 86°F • 30°C for 25 seconds.

**Note:** Do not use Solution B in this processor.

**Replenishment Rate:** In this processor, the mixed solution is used as both a replenisher and a working solution. Replenish at a rate of 0.15 mL/sq in. • 135 mL/min.

**Solution Life:** If you use your processor for 20 or more hours a week, you can use the solution until processor maintenance is required, as long as your process remains in control. For low-volume usage, discard the fixer solution after 80 hours of processing.

**NOTICE:** This product will be replaced if defective in manufacture, labeling, or packaging. Except for such replacement, this product is sold without warranty or liability even though defect, damage, or loss is caused by negligence or other fault.



**EASTMAN KODAK COMPANY, Rochester, NY 14650**

KP 65351v 5-89

Printed in U.S.A.

Kodak, Versamat, Panatomic-X, T-Max, Industrex, and Dektomatic are trademarks.